



相原中学校だより

自己有用感・自己効力感の育成（共に認め合い、貢献、感謝）

拓け 夢を
築け 人生の礎を

今年度の成果と課題

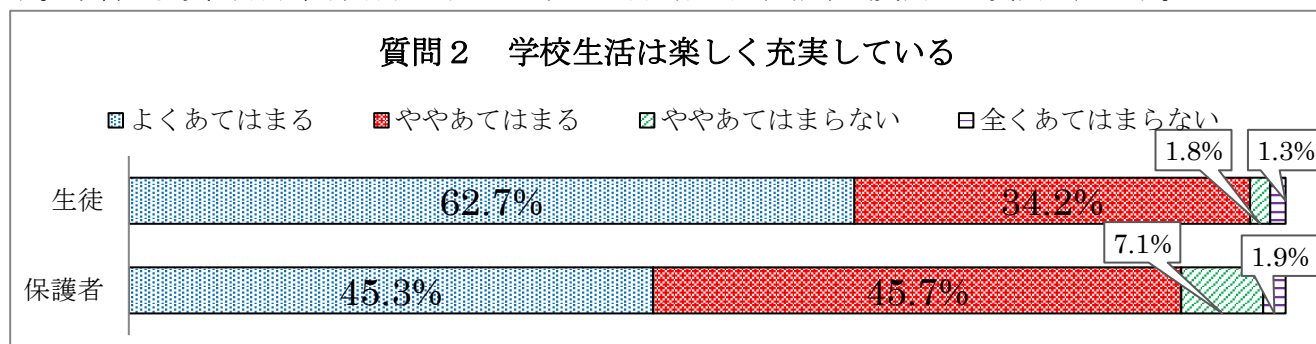
校長 渡部 賢一

令和4年度の学校評価（自己評価）がまとまりましたので、その概要をご報告します。この報告は『学校生活に関するアンケート』（以下、アンケートと表記）の生徒・保護者回答を中心に、行事の反省、日常の生活の様子などを総合し、まとめたものです。

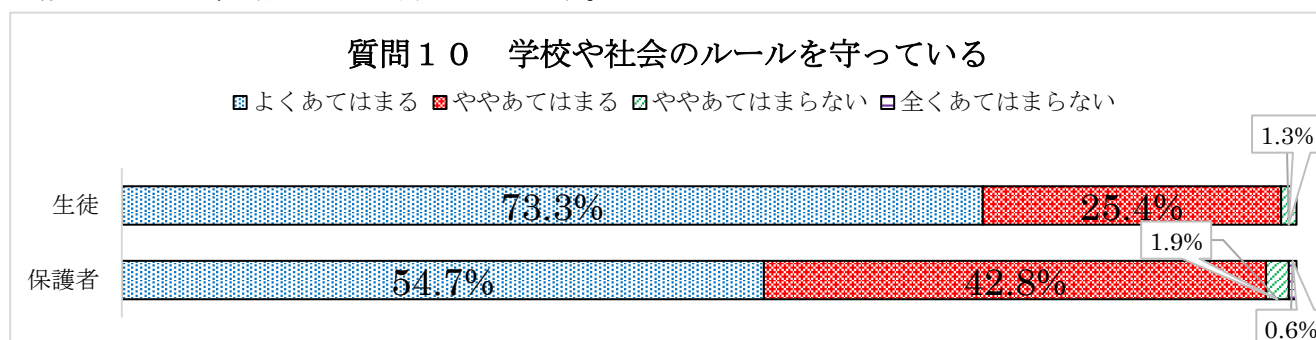
全国学力・学習状況調査の分析結果につきましては、すでに該当学年である3学年保護者に配付し、学校ホームページに掲載しておりますので、あわせてご覧いただきますようお願いいたします。

《今年度の成果として感じたこと》

多くの生徒が学校生活は楽しいと感じ、生徒会活動や部活動にも意欲的な参加姿勢を示しています。アンケートでは、『学校生活は楽しく充実している』の項目には肯定的な回答（「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の合計値）は96.9%（生徒）、91.0%（保護者）と高い評価を示しております。学習や委員会活動、部活動の項目に対しても同様の回答結果（質問3・質問4）です。



『学校や社会のルールを守っている』の項目に対しても、98.7%（生徒）、97.5%（保護者）が肯定的な回答を示しています。集団生活を送る上での規範意識がしっかりと身につけている生徒が多いことは日常の生活態度からも伺えます。ただし「よくあてはまる」と答えた生徒・保護者はともに昨年より減少しており、課題としても捉えています。



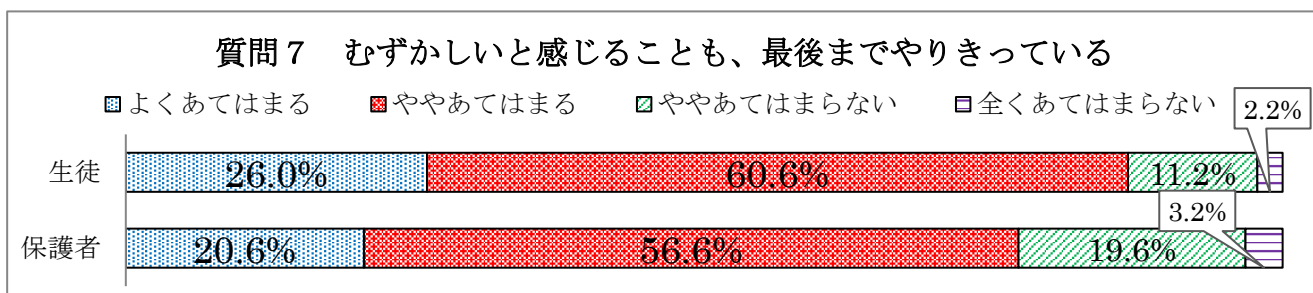
○昨年度から、「互いのよさを認め合い、自己有用感・自己効力感を高める生徒の育成」を本校教育活動の重点として定め、子どもたちの「生きる力」の育成に向けて継続的な取り組みを進めてきました。生徒に対しては「共に認め合い」、「貢献」、「感謝」のスローガンを掲げ、異学年交流や地域との交流を目指しました。地域との交流はなかなか実現できませんでしたが、異学年交流において、学校祭への取組や、生徒会活動における取組が数多く行われました。

○校内研究において、教職員相互に授業を公開し、生徒の力を伸ばすことを目的に授業改善に取り組みました。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けての授業の試行や授業過程に「見通しと振り返り」を設定することで基礎・基本の定着をめざしました。コロナ禍での制限がある中で、授業形態や授業展開の工夫に取り組みました。

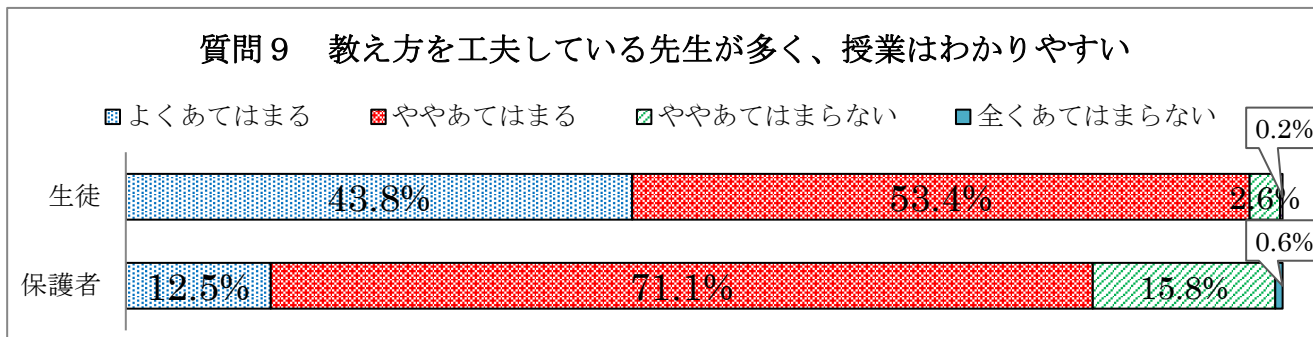
《課題および次年度に向けて》

本年度は昨年度実施できなかった修学旅行や優輝祭文化部門を行うことができました。まだまだ制限の多い中での開催でしたが、教育活動を工夫しながら取り組みました。生徒たちも多くの経験をする中で、成長する姿を見せてくれました。

アンケートでは、「むずかしいと感じることも、最後までやりきっている」の項目には86.6%（生徒）、77.2%（保護者）と比較的高い評価ですが、昨年度の数値よりも下がっています。また、「よくあてはまる」の評価だけ見ると、30%以下にとどまっています。困難なことへ挑んだ体験、また失敗した体験も生徒たちを大きく成長させます。これからも生徒に寄り添いながら、困難にも屈せず物事を成し遂げていく資質・能力を培っていきたいと考えます。



学習調査等を分析すると、相対的には本校生徒の学習成果は比較的良好なもの、中には授業内容についていけなくなっている生徒もいます。学校は今後も研究授業等をとおして教員の授業力の向上に向けて取り組むと共に、個々の生徒の教育的ニーズを把握することで、学習支援のあり方についても検討・工夫をしていきたいと考えています。



アンケートには記述によるご意見も頂きました。保護者のご意見の主なものを掲載いたします。

- 不登校児への対策を、もう少しして頂けるとありがたい。
⇒学校としてできる限りの対応はしていますが、人的資源に限りがあるため、今後も引き続き、SC、サポートルーム、相談指導教室などといった外部の教育資源と連携して対応します。
- 理不尽に怒られる時があると聞いたことがあります。頭ごなしに怒ったりするのではなく、状況をちゃんと把握してから注意してください。
⇒危険を伴う行動や、他者の人権を侵害するような言動については、その場ですぐに指導しますが、それ以外のことについては、生徒側から事実や気持ちをしっかりと聞き取った上で、必要な対応をします。
- 社会的弱者、少数派と括られる中で生きていく子供達が、認められ自信を持って生きやすい世の中になるといいなと思います。
⇒学校生活での服装については、多様な選択肢の中から自分にあった服装を選べるようにしました。また、多様な性について理解を深めるための講話を実施したり、生徒が互いを認め合えるような指導に日頃から取り組んだりしています。

○匿名でのアンケート実施や相談窓口の設置など、誰もが本音で回答できるようにして欲しい。
 ⇒学校で実施するアンケートについては、生徒の悩みや生徒間でのトラブルに迅速に対応するために、全て記名式で行っています。例えば、記述した内容を「担任の先生以外には伝えたくない」という場合であれば、その旨をアンケートに記載していただければ、そのように対応します。匿名での相談を希望する場合は、行政機関の相談窓口を定期的に複数紹介していますので、そちらを活用して頂くことができます。

○服装などの選択肢を増やして臨機応変なところは良いと思います。

○文化部門・体育部門共に学級の団結力を感じ、特に合唱は久しぶりに感動し、心が動く瞬間でした。

○コロナ禍ですが、子供たちも工夫して学校行事や部活動ができていることに感謝しています。

令和4年度 学校生活に関するアンケート集計結果 その1

(令和4年11月実施 回収集計数 生徒名457名、保護者311名)

＜生徒アンケート経年変化＞

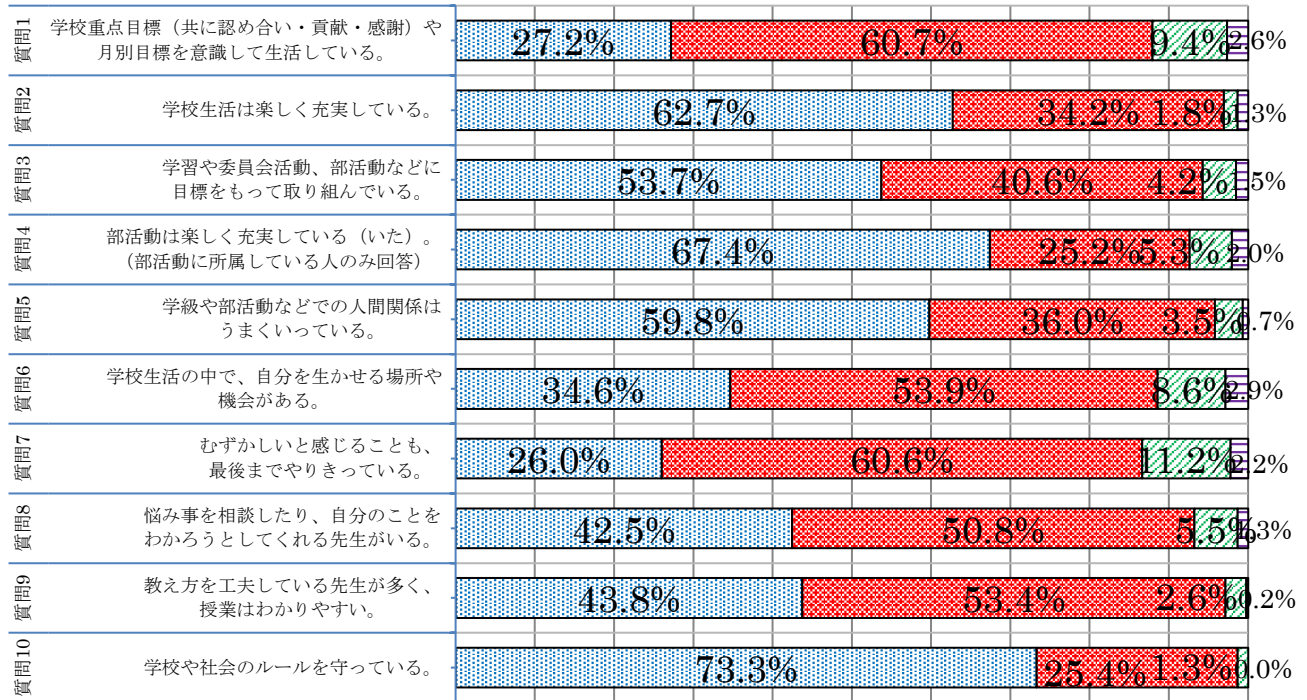
上段：R4年度 中段：R3年度 下段：R2年度

項目	内 容	4	3	2	1
1	学校重点目標（共に認め合い・貢献・感謝）や月別目標を意識して生活している。	27.2%	60.7%	9.4%	2.6%
		23.9%	62.8%	9.3%	4.0%
		11.6%	51.6%	30.4%	6.4%
2	学校生活は楽しく充実している。	62.7%	34.2%	1.8%	1.3%
		59.9%	34.4%	4.0%	1.6%
		57.1%	34.6%	7.0%	1.4%
3	学習や委員会活動、部活動などに目標をもって取り組んでいる。	53.7%	40.6%	4.2%	1.5%
		55.1%	41.0%	3.3%	0.6%
		47.8%	44.7%	6.2%	1.4%
4	部活動に楽しく積極的に参加している（いた）。（部活動に所属している人のみ回答）	67.4%	25.2%	5.3%	2.0%
		64.8%	27.8%	5.7%	1.7%
		63.1%	26.7%	7.5%	2.7%
5	学級や部活動などでの人間関係はうまくいっている。	59.8%	36.0%	3.5%	0.7%
		59.3%	36.3%	3.7%	0.8%
		54.7%	39.0%	5.0%	1.3%
6	学校生活の中で、自分を生かせる場所や機会がある。	34.6%	53.9%	8.6%	2.9%
		32.9%	55.8%	8.5%	2.8%
		26.3%	55.9%	13.7%	4.1%
7	むずかしいと感じることも、最後までやりきっている。	26.0%	60.6%	11.2%	2.2%
		29.1%	58.9%	10.4%	1.6%
		22.6%	56.3%	18.4%	2.7%
8	悩み事を相談したり、自分のことをわかろうとしてくれる先生がいる。	42.5%	50.8%	5.5%	1.3%
		45.1%	48.0%	5.3%	1.6%
		34.6%	51.8%	12.2%	1.4%
9	教え方を工夫している先生が多く、授業はわかりやすい。	43.8%	53.4%	2.6%	0.2%
		47.8%	47.2%	4.5%	0.6%
		30.4%	56.5%	11.8%	1.4%
10	学校や社会のルールを守っている。	73.3%	25.4%	1.3%	0.0%
		76.1%	22.5%	0.8%	0.6%
		72.0%	24.8%	1.9%	1.4%

令和4年度 学校生活に関するアンケート集計結果 その2

生徒用アンケート結果

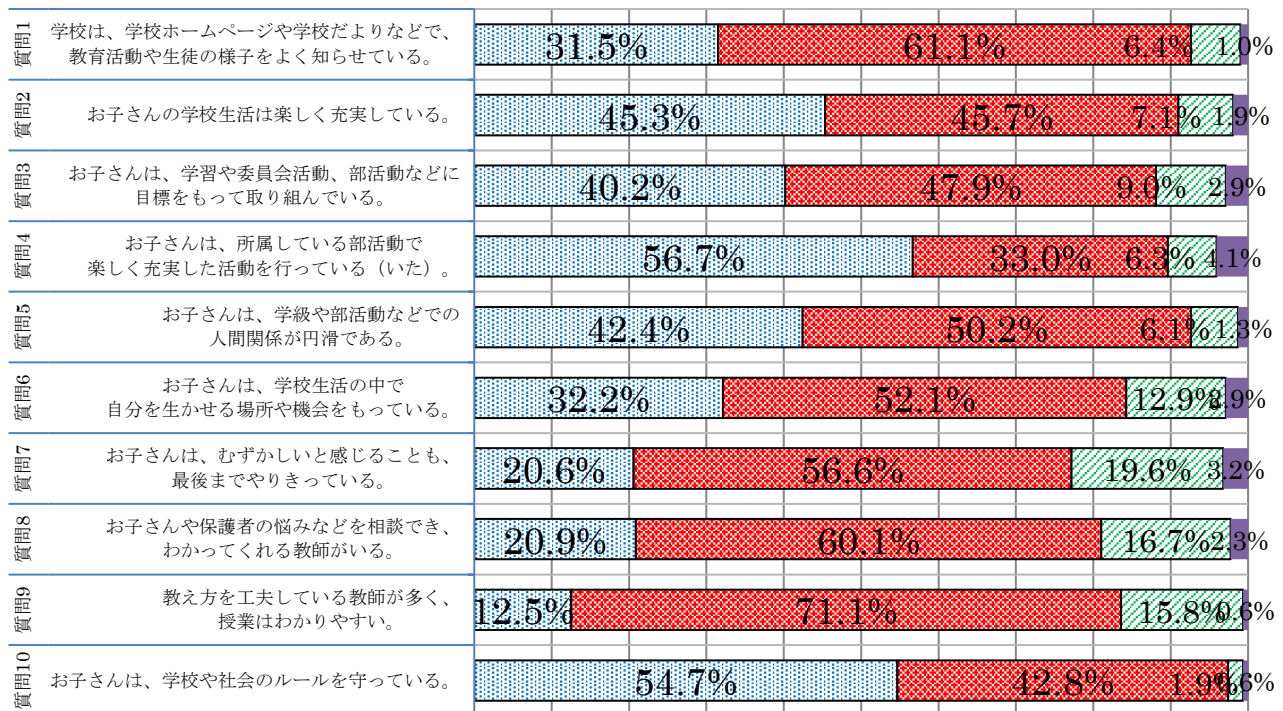
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■よくあてはまる ■ややあてはまる ■ややあてはまらない ■全くあてはまらない

保護者用アンケート結果

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■よくあてはまる ■ややあてはまる ■ややあてはまらない ■全くあてはまらない